

11月9日(水)～11月15日(火)

平成23年秋の火災予防運動

この運動は火を使用する機会が増え、火災の発生しやすい時期を迎えるにあたり、防火思想の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、火災による死者や、財産の損失を防ぐことを目的とします。



「消したはず 決めつけないで もう一度」(全国統一防火標語)
「平和都市 みんなでつくる 防火の輪」(広島市防火標語)

重点目標

- 1 住宅防火対策の推進
- 2 放火火災予防対策の推進
- 3 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 4 製品火災の発生防止に向けた取り組みの推進
- 5 消火器事故防止対策の推進

広島市消防局・広島市東消防署・広島市東消防団

—協力団体—

広島市防火連絡協議会・広島市危険物安全協会
広島市興行場防火連絡協議会・広島市放火火災防止対策連絡会議
(財)広島県消防設備管理協会・広島県消防機器同業組合

ご家庭・地域のみなさまへ

住宅火災による被害の軽減を！

平成 22 年中の広島市消防局管内の住宅火災による死者数は 9 人で、このうち 4 人が高齢者です。住宅火災から尊い命を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。



3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

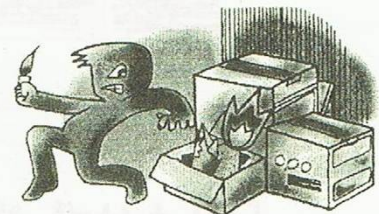
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を備える。
- お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

放火火災に注意！

放火火災（疑い含む）は、昭和61年以降火災原因のトップを占め、年間火災件数の約4分の1となっています。

放火火災を予防するためには、放火されない・させない環境づくりが大切です。

ご家庭や町内会など、次の「放火されない8つのポイント」に留意して、放火火災をなくしましょう。



放火されないための8ポイント

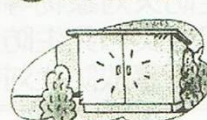
- 1 ゴミは収集日の決められた時間に出す。



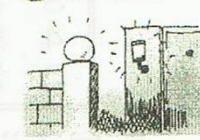
- 2 家のまわりに燃えやすいものを置かない。



- 3 物置などには必ずカギをかける。



- 4 家のまわりを明るくする。



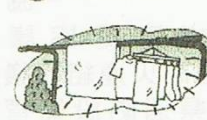
- 5 新聞などをためないようにする。



- 6 路上駐車をしない。



- 7 洗濯物の取り込みを忘れない。



- 8 おとなりとの協力を。

